

# 第1学年1組 学級活動(2) 指導案

1. 日時・場所 令和元年9月18日(水) 5校時(13:30~14:15)

2. 題材 「おなかすっきり だいさくせん」

(ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成)

3. 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、全体的に明るく素直で、どの活動にも興味をもって楽しく取り組んでいる。友達と声を合わせて音読をしたり歌を歌ったりするのが好きで、みんなで活動をする楽しさを感じているようだ。1日の流れも定着し、時計を見てトイレに行ったり水のみをしたりと、学校での生活のリズムに慣れてきている。排便については、学校では排便しない児童もいれば「食べたら出す」という習慣になっている児童もいるなど、排便サイクルの個人差が大きいように思う。

これまでにクラスやグループで相談して生活のめあてを立てたり、家庭で夏休みのめあてを立てたりする活動はしていたが、一人で自分のめあてを立てるのは初めてである。本時では話し合いで出たキーワードとなる言葉を分かりやすく板書し、その言葉をヒントにして具体的にめあてを書けるように指導したい。

(2) 題材設定の理由

健康に生活するためには、早寝、早起き、朝ごはん、朝うんちの規則正しい生活のリズムが大切である。多くの児童が身支度や授業の用意を自分ですることができ、「自分のことは自分で」という意識が強くなってきている。さらに便を通して児童が自分の健康に興味・関心を持ち、進んで健康になるための行動をとれるようになってほしいと考え、この題材を設定した。

今回立てためあてを実践するには家庭の協力が必要不可欠だと思われる。学校では自分で頑張っているが、家庭では保護者に促されて支度をする実態もあるようだ。めあてカードの最後には保護者からのコメントをもらう欄を設けた。めあてや排便の様子を一緒に確認し、1週間の実践後も規則正しい生活リズムを意識できる動機づけになってほしいと思っている。また本時ではペーパーサートや寸劇など、子どもが興味をもてる仕掛けを多く盛り込んでいる。楽しんで学習し、その中で意欲をもって立てためあてを家庭でも主体的に実践する子どもを育てていけるよう、家庭とも連携を図りたい。

#### 4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の身の回りの問題に関心 をもち、進んで日常の生活や学 習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために 日常の生活や学習の課題につ いて話し合い、自分に合ったよ りよい解決方法などについて考 え、判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの 大切さ、そのための基本的な生 活や学習の仕方について理解し ている。

#### 5. 活動の実際

##### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援(○)と評価(☆)	資料
9月12日 (木)朝	・生活習慣につ いてのアンケート に答える	○普段の生活習慣を振り返られるように声 をかける。 ☆アンケートに答え、自分の生活について 考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	生活アンケート (児童の自分の体 への関心を高める ための資料)

##### (2) 本時の活動

- ①ねらい 自分の排便習慣を振り返り、排便の大切さに気付き、よりより排便のためにはどうしたらよいかを話し合っ自分のめあてをもって実践できるようにする。

##### ②展開

	児童の活動	支援(○)と評価(☆)	資料
導 入	【つかむ】 1. 事前アンケートの結果 を見て、うんちを毎日す る人やしない人、その体 調の違いに気付く。	○毎日排便する人とし ない人がいることに 気が付けるような、 簡単なグラフを用 意する。(T1)	アンケート結果を棒 グラフにまとめる。 資料1:児童の意識を 高めるための資料
展 開	【さぐる】 2. 排便のしくみにつ いて、養護教諭の話 を聞く。 □通常の排便のしく みについて  □便の形状につ いて ①ゆるゆるうんち ②すっきりうんち ③かちかちうんち	○生活の流れに沿っ て食べ物排便にな っていく過程を伝 える。(T1,T2)  ○様々な状態の便 があることを伝え、 理想的な便を出そう とする意識をもて るようにする。(T2)	体のつくりエプロン 体のつくり模造紙 うんち君つき指示棒 パペット 資料2:ねらいを焦 点化するための資料

	<p>□不規則な生活リズムのときの排便について</p> <p>【見付ける】</p> <p>3. よい排便をするための生活について考え、発表する。</p>	<p>○キャラクターを使い、不規則な生活を送ると便がどうなるかを見せ、よい生活リズムとの比較ができるようにする。(T1,T2)</p> <p>○隣の人や近くの人と、おなかをすっきりさせるためにはどうしたらよいかを相談するよう声をかける。(T1)</p> <p>○毎日排便ができていない児童も、よい生活リズムの大切さに気付けるようにする。(T1)</p>	
<p>終末</p>	<p>【決める】</p> <p>4. 発表されたことをもとに、自分のお腹をすっきりさせるためには何に気を付けて生活したらよいかのめあてを立てる。</p>	<p>○自分の生活をふりかえって、自分にできるめあてを立てるよう伝える。(T1)</p> <p>○「毎日うんちをする」というめあてを立ててしまっている児童に、そのためにはどうしたらよいか考えるよう声をかける。(T1,T2)</p> <p>☆話し合いを生かして、自分が実践できそうな具体的なめあてを立てている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>	<p>めあてカード 資料3：実践への意欲づけのための資料</p>

③板書計画



(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援（○）と評価（☆）	資料
9月18日 から 9月25日	・1週間、決めためあてを実践し、排便の記録をつける。	○毎日忘れずにめあてを実践できるように促す。 ○めあてを毎日頑張っている児童を紹介してほかの児童の意欲を引き出す。 ☆毎日の生活の中で、排便を通して生活習慣を改善しようとしている。 (集団の一員としての思考、判断、実践)	めあてカード
9月26日 帰りの会	・1週間の実践を振り返って感想を書く。	○めあてカードを見ながら、めあてを実践してみてどうだったか思い出せるようにする。	めあてカード